デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示

2026年10月20日(火)　発行:ていネコの投資ノート

本日のポイント

- **最重要:イーソル(4420)のMBO目的TOBが成立。**ベインキャピタル系BCJ-110が1株820円で買付けを完了し、今後は株式併合によるスクイーズアウトを経て上場廃止となる見込みです。
- **全体の傾向:**20日の大引け後は、新規のTOB・経営統合・株式分割の発表は確認できませんでした。HENNGEのプライム移行など市場区分の変更や、株主優待の拡充・廃止といった比較的小さな開示が中心です。前日夜の分では、リネットジャパングループの大型第三者割当(最大希薄化約38%)が目立ちました。
- **株主の注意点:**来週はTOBの期限が集中します(シェアリングテクノロジー10/27、カカクコム10/28、レオパレス21・かどや製油10/30)。応募を考えている方は、証券会社の受付締切が期限より早い場合があるので確認しておきましょう。

1．本日の主な開示

20日大引け後の開示を中心に、19日夜に報じられた前日分(表中に「19日」と明記)も含めています。

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
TOB結果	4420	イーソル(スタンダード)	ベインキャピタル系BCJ-110によるMBO目的のTOB(1株820円)が成立。応募は12,759,681株で、下限の10,535,800株を上回った。決済開始は10/26。	株式併合によるスクイーズアウトで上場廃止の見込み。応募しなかった株主も、最終的には金銭を受け取る形になる
市場区分変更	4475	HENNGE(グロース→プライム)	10/20付で東証プライム市場へ移行(会社リリース)。	手続きは不要。プライム銘柄となることで、指数連動資金など需給面の変化が意識される
上場廃止決定	2851	iシェアーズ MSCIジャパンSRI ETF	信託期間を11/25までとする約款変更で整理銘柄に指定(10/20〜11/20)。上場廃止日は11/21。	整理期間中に市場で売却するか、信託終了後に償還金を受け取ることになる
第三者割当(19日)	3556	リネットジャパングループ(グロース)	JX金属CS・SGHD・PCSと資本業務提携。新株299.1万株(718円)＋新株予約権258.4万株分を発行し、総額約54.9億円を調達。	最大希薄化率は37.92%(発行済株式数ベース)と大きい。株主の手続きは不要
市場区分変更(19日)	6524 3911	湖北工業(スタンダード→プライム) Aiming(グロース→スタンダード)	いずれも10/26付で市場区分を変更。	手続きは不要
優待廃止・無配	2901	ウェルディッシュ(スタンダード)	前期(26年8月期)の配当を無配とし、26年8月末の基準日を最後に株主優待制度を廃止。	次回以降は優待を受け取れない。インカム目的の株主には悪材料
優待拡充	7578 7372	ニチリョク(スタンダード) デコルテ・HD(グロース)	ニチリョク:1,000株以上を1年以上保有する株主に自社商品券1万〜5万円分を追加(27年3月末に限り保有1年未満も対象)。デコルテ:500株以上の株主に優待券3枚を追加。	対象株数を保有する株主には恩恵。手続きは不要
優待新設(19日)	2776	新都ホールディングス(スタンダード)	1,000株以上の株主にQUOカードPayを贈呈(初回の基準日は27年1月末、総額上限2,000万円)。	上限に達した場合は按分などの扱いを要確認

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
その他	—	note(5243)ほか	note:プライム市場への区分変更申請に向けた準備を開始。ステラファーマ(4888、19日):CVIに100万株の第三者割当(373円)。	—

2．注目案件の解説

イーソル：MBO目的のTOBが成立、非公開化へ

何が決まったか:組み込みソフトウェアのイーソル(4420)に対し、ベインキャピタル系のBCJ-110が実施していたTOB(期間:9/2～10/19)が成立しました。応募株数は12,759,681株で、下限(10,535,800株)を上回っています。

条件:買付価格は1株820円です。会社の開示によると、最終提案の前営業日(8/26)の終値675円に対するプレミアムは約21.5%(筆者算出でも21.48%)。一方、3か月平均(778円)に対するプレミアムは約5.4%にとどまります。公表日前営業日(8/31)の終値は取得できなかったため「—」とします。決済開始日は10/26です。

株主がとれる対応:

- TOBに応募した方:手続きは不要です。10/26以降に証券口座へ代金が入金されます。
- 応募しなかった方:今後、株式併合を決議する臨時株主総会で議決権を行使できます(基準日の設定は10/9に開示済み)。併合後に1株未満となった株式は金銭で精算されます。当初の予定ではスクイーズアウトは2027年1月上旬です。併合に反対する株主は、会社法に基づく株式買取請求や価格決定の申立てが可能です。

論点・注意点:3か月平均に対するプレミアムが小さく、価格の妥当性には議論の余地があります。上場廃止日が決まるまでは市場で売却することもできます。手取りはTOB価格や精算金の水準と比べて判断しましょう。

リネットジャパングループ：大手3社と資本業務提携、最大約38%の希薄化

何が決まったか:19日、JX金属サーキュラーソリューションズ、SGホールディングス、米PCSワイヤレスの3社との資本業務提携を発表しました。中古端末の流通と資源循環の事業を拡大する狙いです。

条件:新株は2,991,200株で、発行価格は718円(前日終値775円に対して7.35%のディスカウント)。払込期間は11/5～12/4です。あわせて、PCS側に第26回新株予約権(104.4万株分、行使価額1,077円)と第27回新株予約権(154万株分、同1,436円)を発行します。調達総額は約54.9億円(新株予約権がすべて行使された場合)。最大希薄化率は37.92%、議決権ベースでは37.94%です。新株の割当後、PCSが議決権の10.36%を持つ主要株主になります。

株主がとれる対応:手続きは不要です(株主総会での決議事項ではありません)。

論点・注意点:希薄化は大きいものの、新株予約権の行使価額は時価を大きく上回る水準に設定されています。提携による業績面の効果が希薄化を上回るかが焦点です。20日はストップ高の買い気配となったと報じられています。

市場区分の変更：HENNGEがプライムへ、湖北工業・Aimingも10/26に変更

何が決まったか:HENNGE(4475)は10/20付でグロースからプライムへ移りました。19日の発表分では、湖北工業(6524)がスタンダードからプライムへ、Aiming(3911)がグロースからスタンダードへ、いずれも10/26付で変更されます。noteもプライムへの申請準備を開始しました。

条件:HENNGEは移行にあわせて、公募増資(新株110万株)と売出しを実施済みです。配当予想も1株6円から11円へ引き上げています。

株主がとれる対応:いずれも手続きは不要です。保有株はそのまま新しい市場区分で取引されます。

論点・注意点:プライムへの移行は、機関投資家や指数連動の資金が入る期待から材料視されやすい一方、公募増資による需給悪化と重なることもあります。株価指数への組入れの有無と時期は、JPXの指数ルールで確認が必要です。

3．上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たに決まったもの：iシェアーズ MSCI ジャパン SRI ETF（2851）が整理銘柄に指定されました（10/20～11/20、上場廃止は 11/21）。株式の上場廃止決定や整理銘柄の指定は、JPX の一覧（10/19 更新）では確認できませんでした。イーソルは TOB が成立しましたが、上場廃止日はまだ決まっていません（株式併合の手続き後に決まります）。

今後 1 か月以内に上場廃止となる銘柄（JPX 一覧より）：

上場廃止日	会社名（コード）	市場	理由
2026/10/29（木）	新光商事（8141）	プライム	他社による買収（公開買付け、株式併合）
2026/11/21（土）	iシェアーズ MSCI ジャパン SRI ETF（2851）	ETF	信託期間の設定（信託終了日 11/25）

4．今後の主な日程

日付	会社名（コード）	内容
10/26（月）	イーソル（4420）	TOB の決済開始
10/26（月）	湖北工業（6524）／Aiming（3911）	市場区分の変更（プライム／スタンダードへ）
10/27（火）	シェアリングテクノロジー（3989）	TOB 期間の終了（MBK パートナーズ系、1 株 1,550 円）
10/28（水）	カカクコム（2371）	TOB 期間の終了（EQT 系 Kamgras 1、1 株 3,682 円）
10/28（水）	10 月末が基準日の銘柄	権利付最終日（10/31 が土曜のため。権利落ち日は 10/29）
10/29（木）	新光商事（8141）	上場廃止日
10/30（金）	レオパレス 21（8848）	TOB 期間の終了（K891、1 株 1,000 円）
10/30（金）	かどや製油（2612）	TOB 期間の終了（インテグラル系、1 株 2,514 円）
11/5（木）	日本抵抗器製作所（6977）	TOB 期間の終了（フェローテック、1 株 1,901 円※）
11/5（木）～	リネットジャパングループ（3556）	第三者割当の払込期間の開始（～12/4）

※日本抵抗器製作所の買付価格は 1 つの出典（tobradar）でしか確認できませんでした。TOB 期間は延長・条件変更の可能性があるため、応募前に各社の最新の開示を確認してください。

5．用語の解説

スクイーズアウト

TOB などで大部分の株式を取得した買い手が、残った少数株主から株式を強制的に買い取る手続きです。株式併合や株式売渡請求が使われます。少数株主は株式を失う代わりに金銭を受け取ります。価格に不満がある場合は、裁判所に価格決定を申し立てることができます。

希薄化

新株の発行などで発行済株式数が増え、1 株あたりの利益や議決権の比率が薄まることです。今回のリネットのように「最大 37.92%」とあれば、新株と新株予約権がすべて株式になった場合に、既存の発行済株式数の約 38%分の株式が増えることを意味します。

対象範囲：本資料は、2026 年 10 月 19 日夜～20 日夜にウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。19 日の大引け後に発表され、19 日夜以降に報じられたものも含めています。

プレミアムなどの算出値は「筆者算出」と明記しています。取得できなかった数値は「—」としています。

本資料は、生成 AI を用いて公開情報を整理・執筆したものです。

出典：日本取引所グループ（上場廃止銘柄一覧、監理・整理銘柄一覧、マーケットニュース）、株探ニュース（松井証券サイト掲載分）、Japan IR、BigGo ファイナンス（TDnet 開示の要約）、PR TIMES、日本 M&A センター、MARR Online、tobradar、au カブコム証券、時事通信、トレーダーズ・ウェブ、フィスコ。

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。